

日退教発 14 - 22 号
2014 年 7 月 17 日

日本退職教職員協議会
各単会 会長様

日本退職教職員協議会
会長 西澤 清

「沖縄と連帯する日退教第5次沖縄交流団」団員の募集について (再)

「沖縄と連帯する日退教第5次沖縄交流団」団員の募集については、2014年6月23日付け發文書14-16号でお知らせいたしましたが、更なる参加のとりくみを要請します。

沖縄で学び、交流し、連帯しよう

これまで4次にわたり沖縄を訪問し、各単会の会員と現地沖縄の県退教・高退教の皆さんとの交流・連帯を深め、沖縄のたたかいを激励しつつ、私たち自身がたたかいを学び、エネルギーをもらってきました。

安倍政権の「戦争をする国づくり」にストップをかけるためにも沖縄のたたかいは重要です。11月に予定される沖縄県知事選挙の前、現地退教の皆さんは連日運動にとりくんでいる時期ですが、日退教第5次沖縄交流団を快く受け入れてくださることになりました。各単会会員の皆さんの積極的な参加を要請します。

記

1 日程

9月28日(日)

12:30～ 受付(教育福祉会館中ホール)

13:30～ 結団・全体会・合同学習会
合同学習会 講演は検討中

※ 沖縄県教育福祉会館

住所 〒902-0061 沖縄県那覇市古島1丁目14-6

電話 098-885-9621

最寄り駅 ゆいレール 古島 徒歩5分

9月29日(月)

8:30～ フィールドワーク（基地・戦跡めぐり）

教育福祉会館 → 嘉数高台（普天間基地を市街地越しに望む） →
辺野古テント村（激励・交流） → 大浦・わんさか二見パーク（昼食）
→ 嘉手納基地 → 北谷町（基地外基地） → 教育会館（交流会場）
（途中普天間基地野嵩ゲート前でオスプレイ撤去を求める現地行動に参加）

※詳細なコースは参加者に別途案内いたします。

17:30～ 懇親交流会（沖縄県教育会館） 解団

※ 沖縄県教育会館

住所 〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地3-9-23

電話 098-867-0171

9月30日(火)

オプションツアー

希望者によるオプションです。（予定：高江ヘリパット建設地 現地
でたかかう仲間を応援。ロングドライブになります。一日がかりの行
動です。参加してこの日に帰る方は夜便をご予約ください。）

- 2 集合・解散 現地集合、現地解散となります。
- 3 交通・宿泊 現地までの交通手段、宿泊は各自ご手配ください。
宿泊は那覇市内で。
(9月29日の懇親交流会は夜8時過ぎに終了、その後解団となりま
すので、29日の宿泊もご準備ください。)
- 4 参加費 10,000円
(現地視察バス代、会場費、交流会費、昼食代1回、講師謝礼。
終了後精算致します。)
- 5 申し込み締め切り 参加申し込みは各単会へ（9月5日（金）日退教締め切り）

いま沖縄では

安倍政権の狙いは11月の知事選（11月16日予定）までに辺野古埋め立てに向け、既成事実を積み重ねておくことです。

米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設問題で、沖縄防衛局は辺野古埋め立てに先立つ海底ボーリング調査に関し、県に協議書を郵送しました。日米両政府は常時立ち入り禁止水域を沿岸部50メートルから2キロまで恣意（しい）的に拡大、政府は近々に同水域を明示するブイ（浮標）を設置、その後ボーリング調査に入るといわれています。

名護市では新基地建設に断固反対する稲嶺進市長が再選されましたが、政府は埋め立て強行の姿勢を改めようとしていません。

安倍首相は4月のオバマ米大統領との会見で「移設を着実に進めていく。その決意を確認し合った」と移設強行の姿勢を隠しませんでした。これに仲井真知事は「いったん始めたら、そのぐらいの決意で進めた方がいい」と言い放ちました。

辺野古移設が「負担軽減」と強調する政府のまやかしがまた明らかになりました。キャンプ・シュワブ内に兵員宿舎30棟以上など多数の軍関連施設を建てる計画が米政府の内部文書で分かりました。海と陸で機能強化された最新の巨大な軍事基地が半永久的に居座ることになります。どこが負担軽減なのでしょう。

オスプレイの全国展開による訓練も活発化されようとしています。また政府・防衛大臣は購入の意思を明らかにしました。

日本自然保護協会（亀山章理事長）は7月9日、環境省で記者会見を開き、名護市辺野古の米軍普天間飛行場代替施設建設予定地で、ことし5月からの約2カ月間で絶滅危惧種ジュゴンの食跡が合計110本以上確認されたと発表しました。同協会は、埋め立て事業の中止と辺野古大浦湾の保全を求めました。

同協会によると、「北限のジュゴン調査チーム・ザン」が5月16日～7月5日までの間、埋め立て予定

地周辺で調査を10回実施し、キャンプ・シュワブ沿岸域の美謝川河口付近などで食跡が確認された。ジュゴンは浅瀬の藻場を利用していると考えられていたが、水深19・6メートルの深場にある藻場でも食跡が確認されたという。同協会はシュワブ周辺の海草藻場で「ジュゴンの利用頻度が増加している」と分析しています。

同協会によると、埋め立て区域周辺にある長島では、サンゴ礫（れき）が付着して成長した鍾乳石が国内で初めて確認されました。鍾乳石は現在でも形成中とみられ、同協会は「詳しい調査を実施すべきだ」としています。



「沖縄と連帯する日退教第5次沖縄交流団」

参加者申込み名簿

申し込み日 2014年 月 日

単会名

連絡責任者

参加者お名前 (年齢)	(〒) 住所	電話 (自宅・携帯)	Fax	オプション希望ある方は○を
()	(〒)			
()	(〒)			
()	(〒)			
()	(〒)			

注 締め切り 「第5次沖縄交流団」参加者申し込み締め切りは9月5日(金)です

(会員への連絡周知の関係でさらに遅れる場合はご連絡ください)

日退教 FAX 03-5275-2081

問い合わせ 日退教TEL 03-5275-2197